

機友会は学生・OB・OG・教職員会員で構成され、会員の会費と寄付によって運営されています。

W

Waseda

M

Mechanical

E

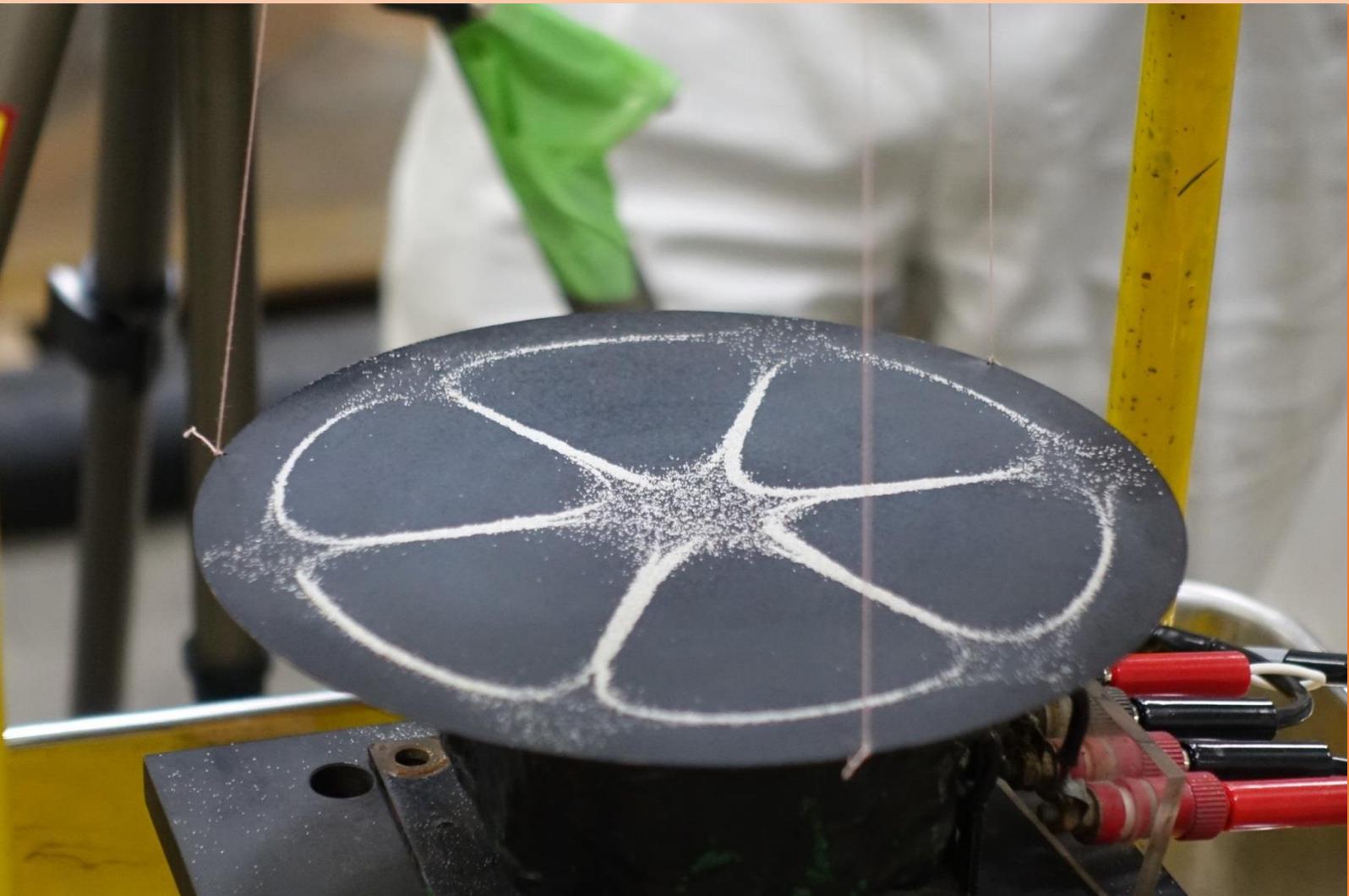
Engineering

E-mail
Magazine
No. 8

2023年12月

Contents

- | | | | |
|------------------------------------|-----|-----------------------------------|-----|
| 1. 機友会ホームカミングデーの開催報告 | P.2 | 4. 「日本はものづくりで勝てないのか!？」の連載を終えて | P.4 |
| 2. 早稲田大学
オープンイノベーション・フォーラム 2023 | P.2 | 5. 日本機械学会関東支部第30期総会・講演会
開催のご案内 | P.5 |
| 3. 第43回早大モビリティシンポジウム開催報告 | P.3 | 6. 編集後記 | P.6 |



円盤の振動実験 円盤上の砂の模様より、円盤の固有の振動モードを確認できる (提供: 荒尾与史彦教授)

1. 機友会ホームカミングデーの開催報告

事務局

晴天に恵まれた10月22日(日)、15:00~17:00、本部14号館404号室において、本学校友会「稲門会」が主催するホームカミングデーに併せて機友会のホームカミングデーを開催しました。新型コロナ禍のため休止が続ки、4年振りの開催となりましたが、教員を含めて24名の卒業生の方々の参加を得て、下記のようなプログラムにより盛会とすることが出来ました。

メインイベントとして、ホームカミングデー招待年次に当たる梅津 光生名誉教授に高齢者の健康や医工学に関する興味深い講演をして頂きました。また、OBの方々からの一言スピーチでは、近況報告から学生時代の思い出話に花が咲きました。

□会長の開催挨拶、学科の現況と機友会の活動について 大聖 泰弘(会長)

□講話:『長寿社会にどう立ち向かうか、バイオエンジニアからのアプローチ』
梅津 光生名誉教授

□懇談

□参加者の皆様からの一言スピーチ

□閉会の辞 谷山 雅俊(副会長)

なお、大学のホームカミングデー・稲門祭の記念式典については、下記のYouTubeによりご覧になれます。

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=SkyXXCHw2VA>

本年は、皆様への通知が遅れてしまいましたが、来年からは機友会と校友会からホームカミングデーの開催案内を2ヵ月前にアナウンス致しますので、卒業後15、25、35、45、50年に当たるの方々を中心にお誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

2. 早稲田大学オープンイノベーション・フォーラム 2023 の開催

事務局

去る11月11日(木)、12日(金)の2日間、標記のフォーラムが本部キャンパスで開催されました。このフォーラムは「研究の早稲田」実現に向け、産学官連携の推進、大学発ベンチャーの紹介、文理融合の研究・社会変革につながる取組み等の紹介、ならびに企業等の関係者との連携に関わるマッチングを目的とした一般公開による産学官連携イベントとして行われました。これを通じて、産学連携・人材育成・知財創出・ベンチャー育成を統合的に推進することを目指すものです。開催全体の概要については、下記のURLをご覧ください。

URL: <https://waseda-oif23.jp>

このイベントの一環として、2日目の午後、予約で満席となった大隈記念講堂において、下記の本学出身の企業代表者4氏により、人工知能をテーマとする対談が行われました。特に、本メールマガジン No.4（本年4月発行）でも紹介した佐藤 恒治氏は、本学機械工学科の出身であり、この4月にトヨタ自動車の社長に就任されたばかりの方です。機友会ホームページでも開催をご案内しましたので、多くの学生諸君や卒業生の方々にご参加いただきました。

対談では、司会役の秋池氏のリードのもと、各社独自のモノづくりの視点から、AIが果たすべき役割と課題、さらには将来の発展の可能性について示唆に富んだ発言が相次ぎ、大変興味深い対談となりました。



さらに、この対談に続いて、本年度、「カーボンニュートラル社会研究教育センター(WCANS)」が全学的な組織として設立されたことを記念して、そのトップレベルPI教授による講演・名刺交換会が行われました。このセンターについては、本メールマガジン No.5（本年6月発行）でもご紹介しましたように、カーボンニュートラルに関わるトップレベル研究教育者として機械系4名の研究者が選ばれています。



今回の講演会では、その一人として総合機械工学科の草鹿 仁教授（写真）が講演者に指名されました。同教授が機構長を務める本学研究院の次世代自動車研究機構において、カーボンニュートラルに向けた自動車の電動化に関するテーマのうち、「電動車パワートレインモデルの紹介とその活用事例」と題して成果の紹介が行われ、注目を集めました。

3. 第43回早大モビリティシンポジウム開催報告

草鹿研究室修士1年 原田 空樹

本シンポジウムは、自動車技術やモビリティに関わる諸問題を対象に、早稲田機友会・内燃機関研究会の活動の一環として1981年に開始されました。その後、1993年より早稲田大学理工学研究所内に設置されたプロジェクト研究（早大モビリティ研究会）として受け継がれ、現在「自動車技術と持続可能なモビリティに関する研究（第10次第Ⅱ期早大モビリティ研究会、代表草鹿 仁教授）」（2023～2026年度の3年間のプロジェクト研究）の活動の一環として運営・開催しています。



本年度は第43回を迎え、2023年11月18日(土)、4年ぶりの対面での開催となりました。機友会ホームページでもご案内した効果もあり、約220名の学内外の方々にご参加頂き、計9件の講演に対して、活発な質疑応答と意見交換が行われました。一般講演では、ディーゼルエンジンのライトサイジング、燃料電池、ロータリーエンジン、プラグインハイブリッドシステム等、多種多様な自動車用動力システムを中心に最新技術が紹介されました。また、パネルディスカッション(鼎談)では、将来の石油供給量の低下とカーボンニュートラルに備えた対策について議論が交わされました。

さらに特別講演として、日産自動車株式会社副社長の中畔邦雄氏には、「技術で、未来を創る～モビリティの現在地と将来展望～」、本学カーボンニュートラル社会研究教育センター所長の林 泰弘教授には「モビリティとエネルギーとの真のカップリング

を目指して」と題して、今後のモビリティ社会とのあり方と戦略を展望していただきました。

このように、今回も多くの方々のご参加を得て、充実した内容の講演会とすることが出来ましたのも、講演者の皆様をはじめ、企画・運営に協力された実行委員の方々、またご後援頂いております企業のご尽力の賜と存じ、関係各位に改めて厚く御礼申し上げます。

なお、次回は2024年11月16日(土)の対面開催を予定しております。詳しい開催次第につきましては、機友会のメールマガジンやホームページにてお知らせ致しますので、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

第43回 早大モビリティシンポジウム



シンポジウムパンフレット



会場風景 (57号館 202室)

4. 「日本はものづくりで勝てないのか!？」 の連載を終えて

浅川 基男 名誉教授

この日本機械学会誌連載は私が想像していた以上に読者への影響が大きく、その後「電気学会」「機械学会」「塑性加工学会」「素形材センター」「機友会」等の団体を始め、数社の企業から講演を依頼された。来年も3件ほどの講演要請が来ている。その中である企業の以下のような20代からのアンケート結果が私にとって大変貴重であった。

- ・「頭の良さ」よりも「頭の強さ」が印象的、あらゆることを諦めず継続して行きたい。
- ・“good は great の敵”、good と言われたら慢心せず「イエローカードを1枚もらった」と心に留めておきたい。
- ・「学生が真理とする3要素は、① TVや新聞でそう報道している、② 学校でそう教えている、③ 周囲のみんながそう言っている」は真にその通り。さらに付け加えればChatGPTでもそう言っているとなるかも。
- ・「事務所やパソコンの中に宝物はない。現場へ頻繁に出ているか? 現場で鍛えられているか」、が心にジーンと来た。

- ・「会議や講演での質問は単刀直入に 10 秒以内、回答も単刀直入に 10 秒以内」、「落としどころが無い会議は開かない」、はすぐに実践したい。
 - ・フォン・カルマンの「科学者は存在する世界を発見し、技術者は全く存在していなかった世界を創り出す」は珠玉の名言！
 - ・今までにない講演、昨今の情勢もありながら切り込みにくいことにも熱意をもって素直に話して頂き有益、どんな仕事もやらされるのではなく、強い好奇心・執着心をもって取り組みたい。
 - ・「叱って育てろ・パソコンの前に宝物はない」、「頭の良さよりも頭の強さ」が印象的。
 - ・この講演を大学時代に聴いていたら、もう少しましなエンジニアになっていたかも。
 - ・「ゆるい職場」とならない様に上司がしっかりコントロールしないとダメ。
 - ・私自身もそうだが、不具合を環境のせいにする傾向が強い、他責と捉えて逃げるのではなく自責として問題と向き合いたい。
 - ・自分がなぜ技術者になったのか？自分が何を学生時代に感じたのか？を見つめなおす非常に良い機会になった
 - ・今回の講演は改めて自分の上司など（熱を忘れた人たちに）聞いてほしい内容、この聴講を上司にも促したい。
 - ・本当に面白くためになる講演、我々が中学・高校・大学と受けてきた授業には素晴らしい授業が沢山あったのだと改めて実感、過去にさかのぼることができたら「もう少しまじめに勉強していたのに・・・」と思う。
- 最後に 50 代の管理職から、「日本のものづくりに対する熱いメッセージを感じる講演を聞くことができ聴講者全員、仕事に対する思いを新たに、良い方向にリセットすることができた。20 年いや 30 年前に、このお話を聞いていれば、もっと活躍できていたのではないかと思うほど、楽しくもあり心に突き刺さる貴重なお話でした」と。

5. 日本機械学会関東支部第 30 期総会・講演会ご案内

総合機械工学科 高西 淳夫、機械科学・航空宇宙学科 宮川 和芳

2024 年 3 月 13 日（水）、14 日（木）に、早稲田大学西早稲田キャンパスにおいて日本機械学会の関東支部第 30 期総会・講演会を開催いたします。卒業生の皆様におかれましては、この機会にご参加を頂ければ幸いです。詳しくは、URL: <https://www.jsme.or.jp/conference/ktconf24/index.html> をご覧ください。

なお、特別講演のみご参加の場合は事前に下記よりお申込みください。

URL: https://wasedaunivcampus.au1.qualtrics.com/jfe/form/SV_3UddbPXj3NPaAbs

- 題目：D X、G X が拓くデジタル製造業の未来
- 日時：2024 年 3 月 13 日（水）16：50～17：50（予定）
- 会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 2 階 202 教室（予定）
- 講師：前川 篤氏

MAEK Lab.Inc 社長（先端技術研究）

大阪大学工学部招聘教授、京都大学大学院思修館特任教授

～ 編集後記 ～

本メールマガジンも 2 年目の年末を迎え、No.8 を発行する運びとなりました。これまでに寄稿して下さった皆様に改めて厚くお礼申し上げます。No.9 は年が改まった 2 月末に発行する予定にしておりますが、新たに両学科の研究室紹介の連載を始めたいと存じます。また、諸行事や OB・OG の集まりのお知らせや報告、ご意見やご要望をお寄せ頂きたく、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様には恙なくよいお年をお迎え下さいますようお願い申し上げます。

編集委員一同

機友会事務局（開室日：月・木曜日 10 時-16 時）

住所： 〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1

55 号館 4 階

電話/FAX： 03-3205-9727

E-mail：waseda-kiyukai@ktb.biglobe.ne.jp

機友会 HP：<https://waseda-kiyukai.jp/>

会費納入のお願い

会員管理システムを利用して様々な
決済方法により会費の納入が行える
ようになりました。

機友会会員管理システム：

https://waseda-kiyukai.jp/member_management

